

令和元年度 福岡市学習定着度調査第3学年結果のお知らせ

7月9日に福岡市の全小学校の3年生を対象に算数の学習定着度調査が行われました。その結果をお知らせします。

1 結果の概要

※ 本校の正答率が福岡市平均と比べて「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」のいずれであるかについて表記しています。

教科	福岡市平均と比べた正答率	正答率が高い問題	本校としての正答率が低い問題
算数	やや上回っている。	○計算の意味（活用） ・ $\square \div 8 = 4$ を求める。 ・ $4 \times 6 = 4 \times 5 + \square$ を求める。	●倍の問題 ア、イ、ウ、エの長さの違うテープからアの4倍のテープを求めるなど

2 総評

全体的に高い正答率になっています。特にたし算や引き算、かけ算や割り算の基本問題についての理解は十分にできています。しかし、倍の意味については理解が十分にできていない点もありました。

3 今後の取り組み

- 算数においては、個別指導などを通して子ども達の習熟の状況に合わせた補充学習に取り組みます。
- 宿題だけでなく、自主学習（10分×3学年）の取り組みを行いながら、能動的な学習習慣をつくっていけるよう支援していきます。
- 読書は基礎的な学力を身につける点で重要です。読書タイムや国語、総合的な学習などを活用し、読書に取り組んでいく場を設定し、文章読解力や語彙が身につくようにします。